

いう人が、大学生だけでなく社会人にも多いことが分かる。それらの指南書には、書き方のコツとしてたい文章構成の型や文章表現の代表例が示されていて、これらの「型」を習得することが重要である、と書かれている。自分も授業で、レポートや論文の「型」の指導に多くの時間を費やしている。

しかし、いくら「型」を学んでもレポートや論文が書けるようになるわけではない。なぜ書けないのか。

* * *

もうずいぶん前のことだが、文章理解について小・中学生の段階的な「読み」の特徴を調べたことがある。対象は小学3年生、5年生、中学3年生。調査に用いたのは、古い教科書に掲載されていた「チンパンジーと道具」という説明文(『小学国語3年 上』, 光村図書, 昭和 54 年版)。チンパンジーは賢い動物で木の棒を使ってアリヅカの中にいるシロアリを捕って食べる、というような内容である。その説明文に次のような箇所がある。

シロアリは、とうのような形をしたありづかの中に住んでいます。(1)このありづかはたいへんかたいので、チンパンジーが手でこわそうとしても、こわれません。

調査では、傍線部(1)を取り上げて、「なぜありづかがかたいと書いてあるのか」を質問した。平凡な質問のように思われるかもしれないが、「固い」という特徴はアリヅカの一般的、典型的な特徴を示すものではない。事典には、たとえば次のようにある。

昆虫類のアリまたはシロアリの巣で、地上に円錐状、塔状、あるいはキノコ状に盛り上げられた部分という。…(略)…地中から運び出された土と付近の地表から集められた針葉樹の落ち葉や落ち枝などでつくられ、その大きさは直径 10 メートル、高さ2メートルに達するものもある。塚の内部には多数の巣室と通路があり、地下の巣と連絡している。塚の機能は、太陽からの熱を集め、巣内を高温に保つことであり、温度の高い表層部には老齢幼虫や蛹がみられる。(以下略)[山内克典]『日本大百科全書』(小学館)より

ここには、形状、材料、大きさ、内部構造、機能などについての説明はあるが、固さについての記述はない。他の事典でも固さに言及しているものはほとんどないように思われる。アリヅカには、固いものもあればやわらかいものも、もろく崩れやすいものもあるからだ。それにもかかわらずわざわざ固いことが書かれているのは、特別な意味があるからだ。そのことを理解しているかを確認するのが調査の目的である。

小3の回答は、「ありづかかたいからかたいと書いてある」というものがほとんどだった。これに対して小5では、「ありづかかたいからかたいと書いてある」という回答が減少し、無回答が増加した。さらに中3では、「なぜ棒を使う必要があるのかを、読者に分からせるため」というような回答が大半を占めた。中3の回答からは、彼らが次のようなことを考えているのが想像される。

・アリヅカがどのようなものかを説明するには、大きさ、材質、形、固さ、表面の状態、内部構造、作り方など、様々な観点が考えられる。この説明文では、形と固さについてのみ書かれていて、他の観点については書かれていない。

- ・筆者には、チンパンジーが道具を使う賢い動物だということを読者に伝えたいという意図がある。
- ・読者に、チンパンジーが道具を使わなければならない必然性をイメージさせるには、固さという特徴を取り上げるのが効果的である。

この調査から、中3くらいになると、文章に書かれていることだけではなく書かれていないことも含めて文章を読むようになることがわかる。これは新しい知見でも何でもない、あたりまえのことである。私たちは、ここで指摘するまでもなく日常的にそんなふうには読んでいる。だからこそ、新聞を読んで買いの注文を告げたり、市役所からの通知を受け取って手続きに行ったり、郵便受けに入っているダイレクトメールをゴミ箱に捨てたりすることができる。繰り返しになるが、私たちは文章理解の際に、文章に書かれていることだけではなく書かれていないことも思い浮かべながら読んでいるのであり、そのような「ことからの選択」をどこまで自覚しているかが重要なのである。

同じことは、文章を書く際にもいえる。書くべきことがらと、書かないほうがよいことがらとを目的に照らして取捨選択しているかが重要だ。私たちは文章を書く前に、テーマや目的に応じて関係することがらを紙の上に書き出したりする。そして、矢印をつけたり囲んだりして書き出したことがらと関係づける。その時、取捨選択ができているだろうか。また、取捨選択ができるほどことがらをたくさん書き出しているだろうか。幅広く材料を集めるために多様な考えや情報、さらには異論や反論などの自分にとって都合のよくないことがらまで集めているだろうか。

文章を書く上で、ことからの選択という手続きは欠かせない。

ところで、さきの説明文はこのあと話題が、道具の使用から道具の製作へと展開していく。その中に次のような内容を述べた箇所がある。

(2)このシロアリをとるためのぼうは、しなやかで強い木の皮でできています。そうでないと、あなにさしこむときに、とちゅうでおれたり曲がったりして、シロアリの所までとどかないからです。

今度は、調査したのとは別の小5の教室で、次のような授業をした。アリヅカの固さが選択されていることに気づかせた後で、傍線部(2)を取り上げて次のように指示してみた。「実は傍線(2)の箇所は、もとの文が書き換えられています。もとの文はどのように書かれていたのでしょうか、書き直してみましよう。ただし、書かれている内容に間違いがあるわけではありません。」

子どもたちが考えた文は、細部に違いがあるものの全体としては似通っていて、次にあげる「もとの文」に近い表現になっていた。

チンパンジーは、このぼうを作るのに、しなやかで強い木の皮をさがします。

もとの文は、主語・述語が「ぼうは・できています」ではなく、「チンパンジーは・さがします」になっていた。こうすることで、材料がどんな特徴を備えているかを述べる文から、チンパンジーが目的遂行のためにどのように材料を選ぶかを述べる文に変わる。書き手の意図を考えれば、後者の表現が選択されたのもうなずける。

伝えたいことがらを表現する方法は、多くはないがいくつかある。主語・述語を替えてみる、対比表現にす

る、受動態にする、逆接表現を用いて強調する……。いろんな表現に書き換えることで、何を伝えたいのかという中身もはっきりしてくる。つまり、書く目的に応じて文章表現を選択することも重要なのだ。

* * *

レポートや論文が書けるようになるには、文章の「型」のほかに、ことからの選択や文章表現の選択も重要であることを取り上げました。キャリアアップ講座の「ビジネス文章表現」でも、このような話題も扱います。文書を用いて、業務に関する内容を相手に正確に伝えたり、こちらの意図する行動を相手に促したりするにはどうすればよいか、受講者の皆さんと経験や意見を交流しながら深めていきたいと思っています。

◆今週の一冊◆

木本先生おすすめの書籍です。



『論理が伝わる世界標準の「議論の技術」 Win-Win へと導く5つの技法』倉島保美著 講談社

本書の背表紙には、「議論は勝つか負けるかではありません。Win-Win の成果を導き出す論理的で生産的な話し合いです。思わず「なるほど」と膝を打つ実例で議論上手になるテクニックを学んでいきます」とあります。議論の中で交わされる反論を「主張型反論」と「論証型反論」に分けたうえで後者に焦点をあてて、話題の選択、論点の明示、否定の仕方などについてわかりやすく説明しています。

◎事務局から◎

2021 年度、キャリアアップ・プログラム、カルチャー講座受講申し込み受付中です！

1 学期講座の申込締切は、4 月 30 日(金)です。

◇2021 年度 1 学期開講科目のご案内◇

※科目名からシラバスを閲覧できます。

■「[ビジネス文章表現](#)」

講師：教養教育部 教授 木本一成

分かりやすく説得力のある文章を書くために、ビジネス文章表現の基本や文書作成の考え方について学びます。

★2021 年 5 月 24 日(月)開始(毎週月曜全 6 回)

■「[NPO でソーシャルビジネス、コミュニティビジネスを創り出そう](#)」

講師:スポーツ経営学科 准教授 中村隆行

NPO とは何か、何ができるのか、社会貢献しつつ、持続可能な組織をどうやって作るのかについて考えます。

★2021 年 5 月 25 日(火)開始(毎週火曜日全 6 回)

■「[日本経済入門](#)」

講師:経済学科 教授 野北晴子

世界的な大転換を迎えた今年、これから日本経済をどのように立て直していくか、国民一人一人が認識することが重要となります。氾濫する様々な情報の中で、冷静に分析・判断するための経済学的思考を身に付けます。

★2021 年 5 月 19 日(水)開始(毎週水曜日全 6 回)

■「[経済学の基本](#)」

講師:経済学科 教授 新垣繁秀

経済学の基本的な内容を展開します。「経済学は選択の学問」と言われます。それを踏まえながら様々な経済問題を考えていきます。

★2021 年 5 月 19 日(水)開始(毎週水曜日全 6 回)

■「[広告デザイン 基礎](#)」

講師:メディアビジネス学科 准教授 宮地英和

伝えるためのデザインに必要な発想法やテクニックについて学び、演習では実際に広告デザイン制作を体験していただきます。

★2021 年 5 月 20 日(木)開始(毎週木曜日全 6 回)

■「[国際金融の基礎](#)」

講師:経済学科 教授 福居信幸

国際金融とは何か、またそれは私たちの生活にどのような影響を与えているのかを初めて国際金融の世界に触れる方にも分かりやすく解説します。

★2021 年 5 月 21 日(金)開始(毎週金曜全 6 回)

■「[コーポレート・ファイナンス基礎](#)」

講師:経済学科 教授 重本洋一

企業の資金調達や投資活動はどのような判断基準で行えばよいのか?これらの点についてコーポレート・ファイナンス理論を踏まえつつ実例を用いて易しく解説していきます。

★2021 年 5 月 21 日(金)開始(毎週金曜全 6 回)

2019 年度の講座終了後のアンケートに寄せられた受講生の声の一部をお知らせします。

2021 年度の受講をご検討の皆さまは、ぜひこちらをご覧ください、受講の参考にしていただけたらと思います。

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/voice2015.html>

※2 学期、3 学期の講座についても申し込みを受け付けております。

詳細については、以下URLをご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元：広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局（082-871-9345）